



昔々…

まだ妖怪と
人間が
共に暮らして
いた時代

とある村に
一人の少年が
いた

そこには
大きな神社があり

彼はその

巫女(鬼)に
心惹かれていた

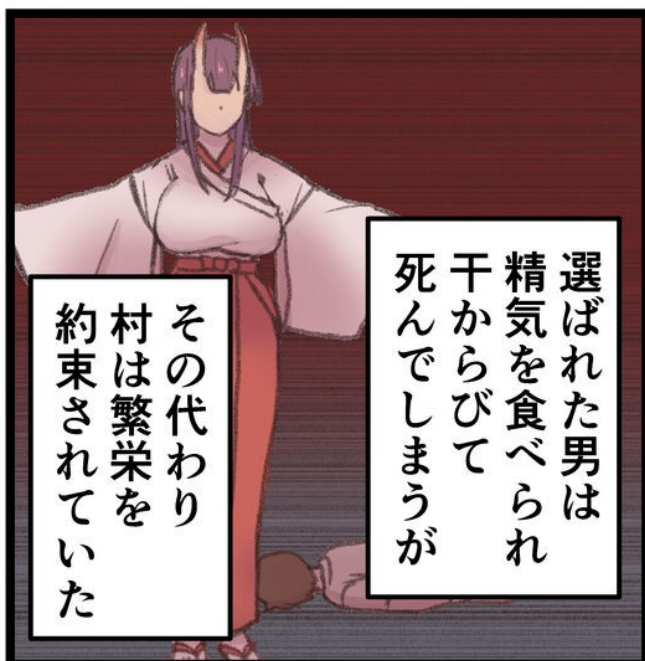
鬼巫女は
長い年月を
生きていたが

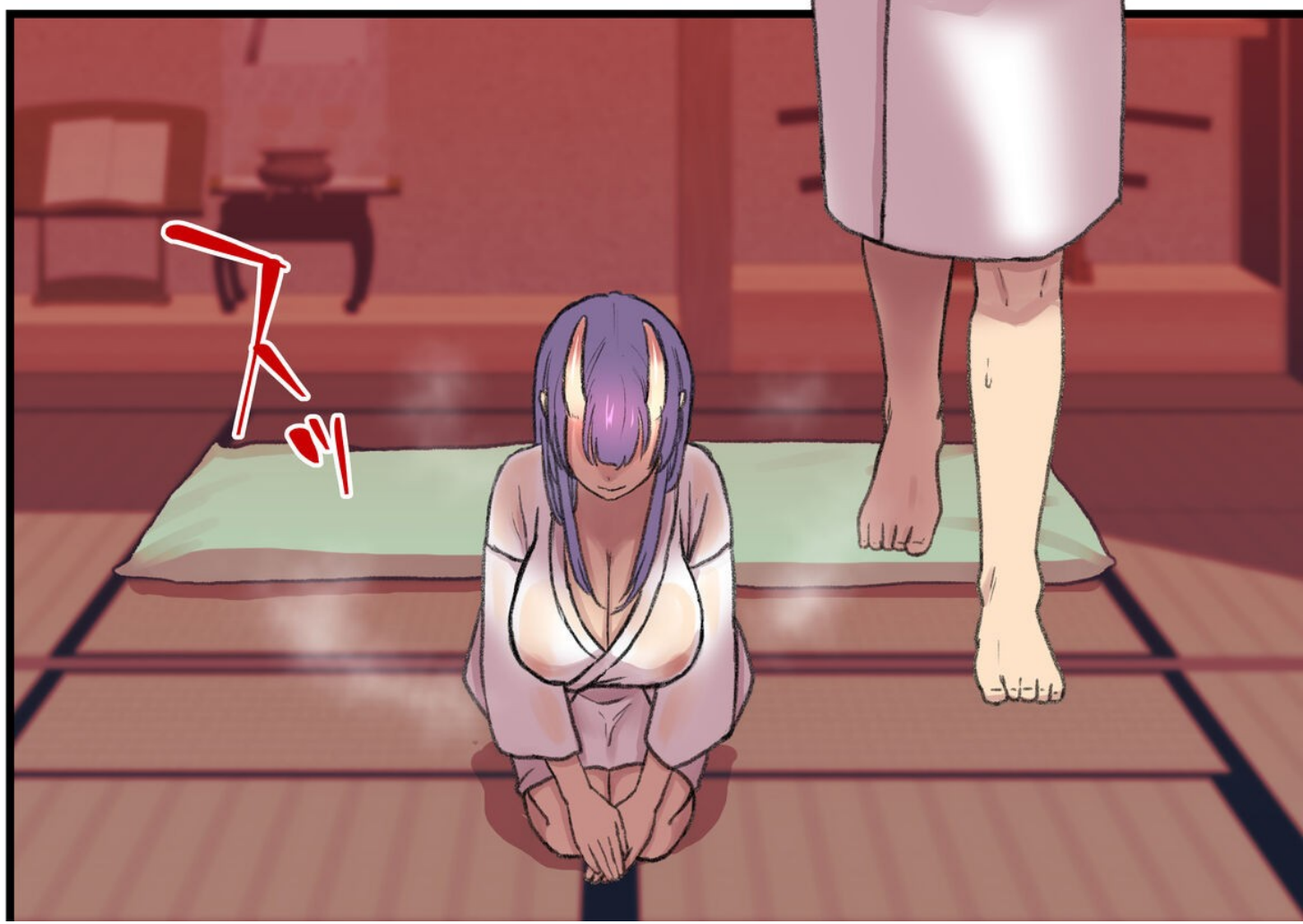
若く美しい
見た目をしていた

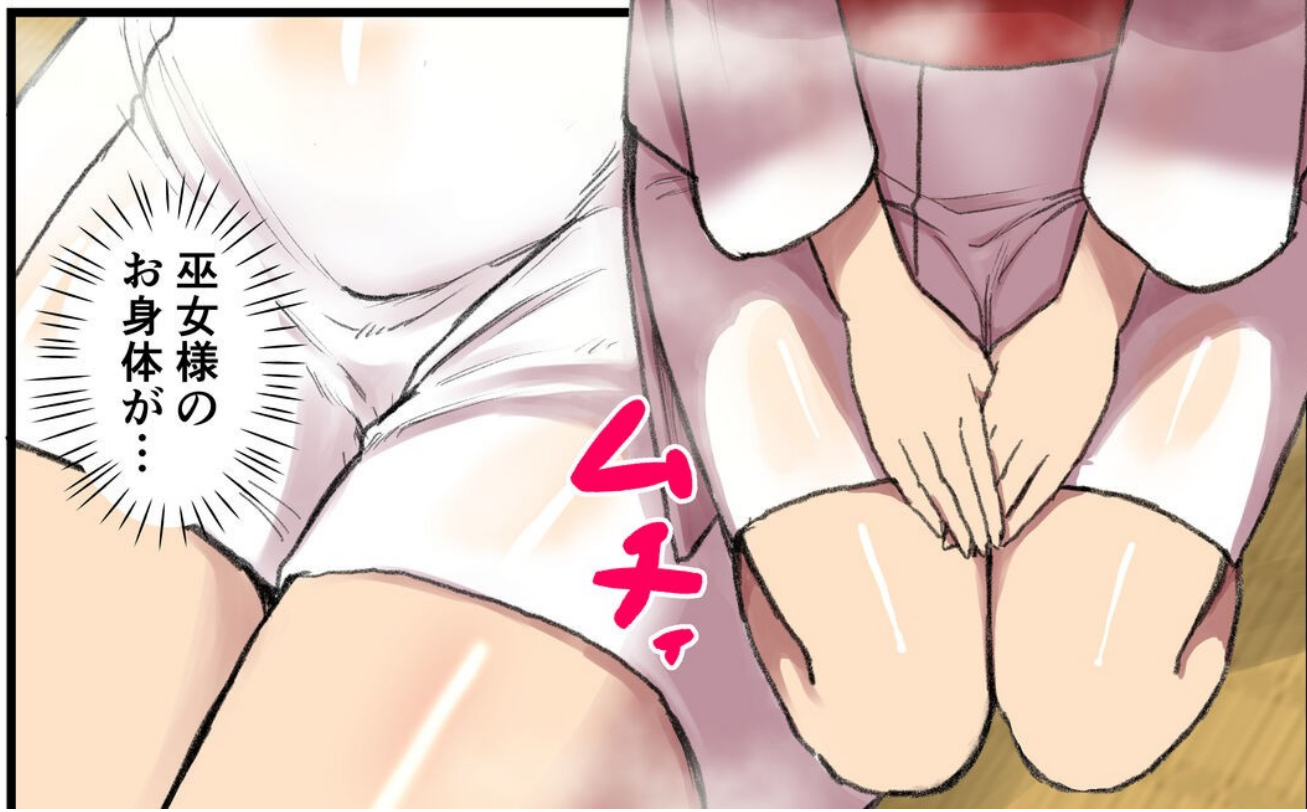
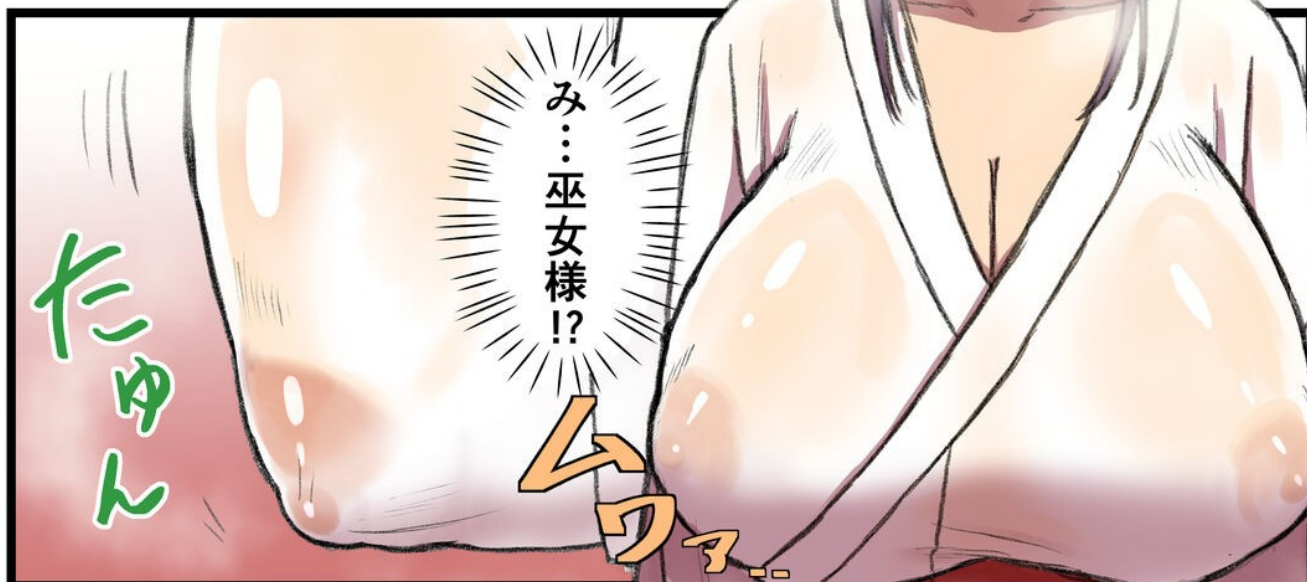
少年には
家族がおらず
1人寂しい
日々を
過ごしていたが

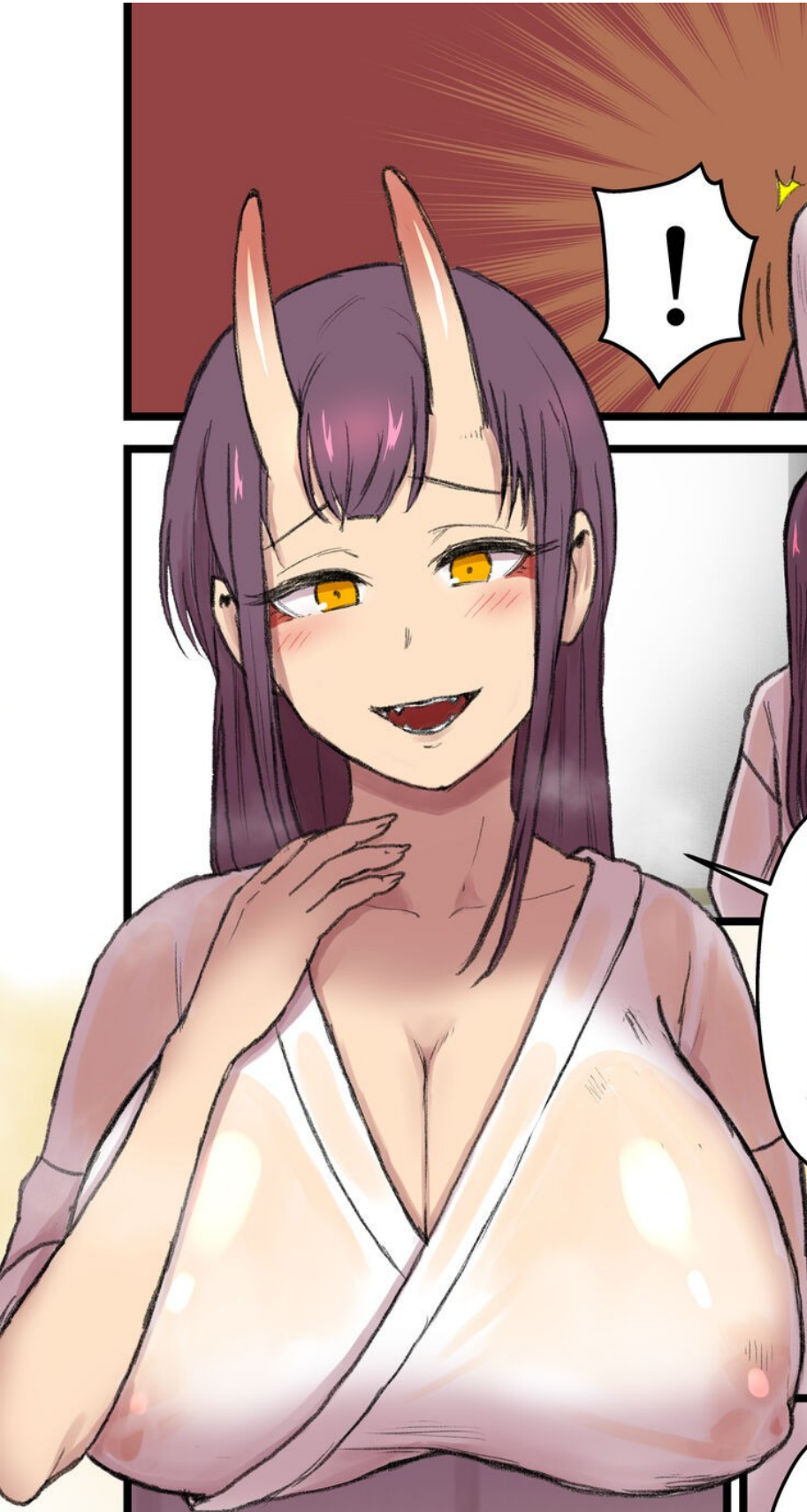
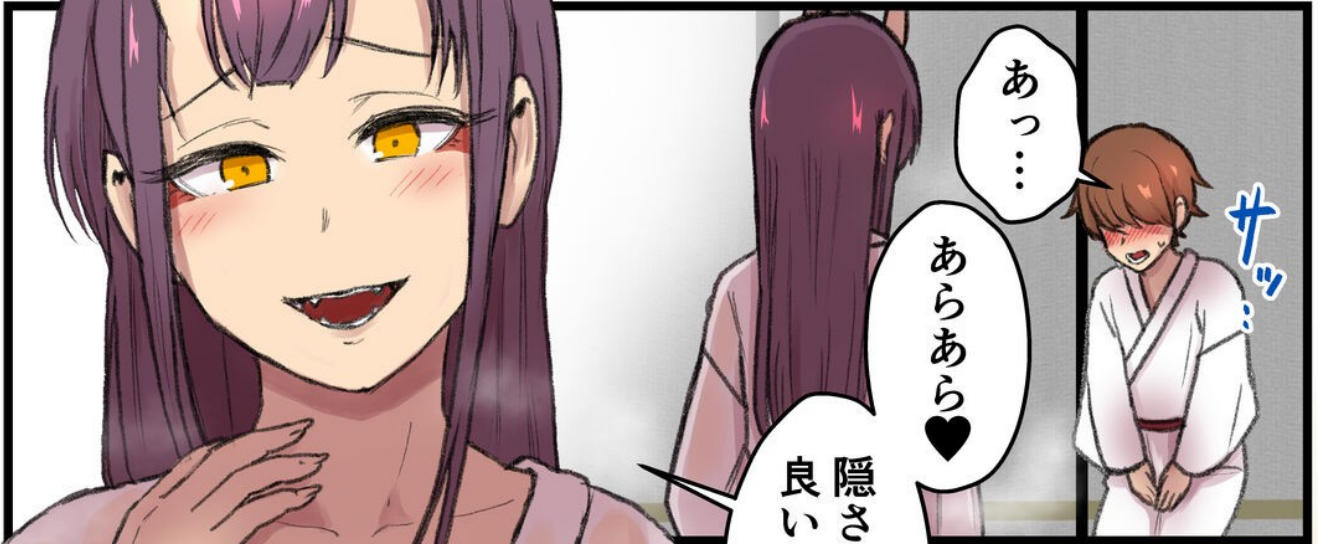
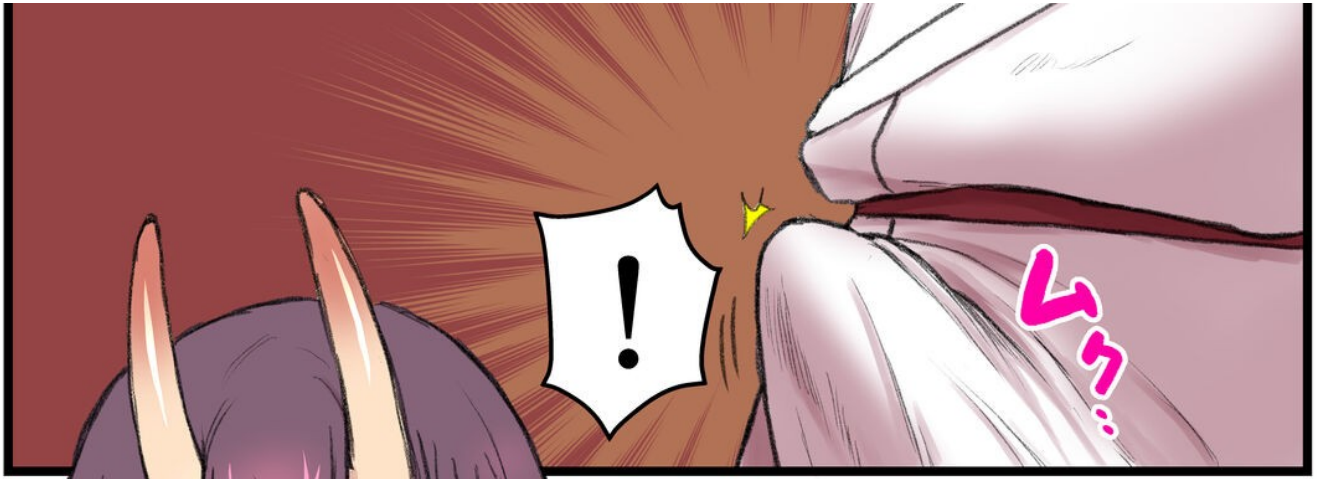
唯一の
心の支えが
この叶わぬ
恋だった

カ
ア

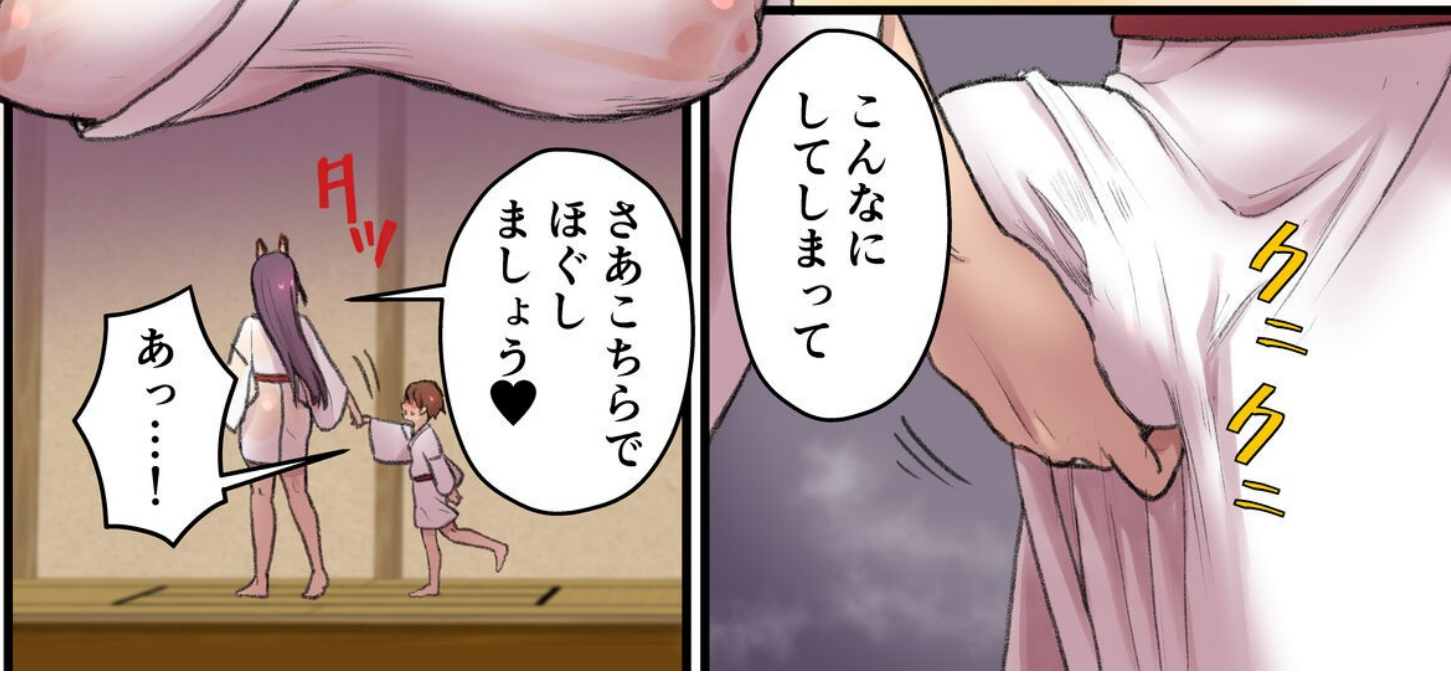


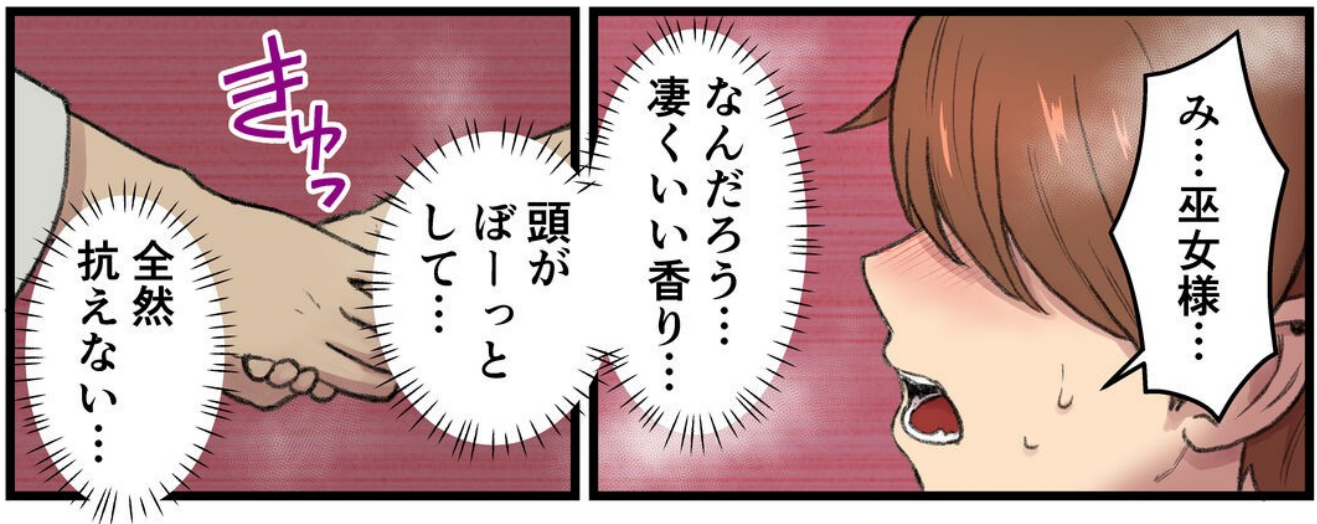


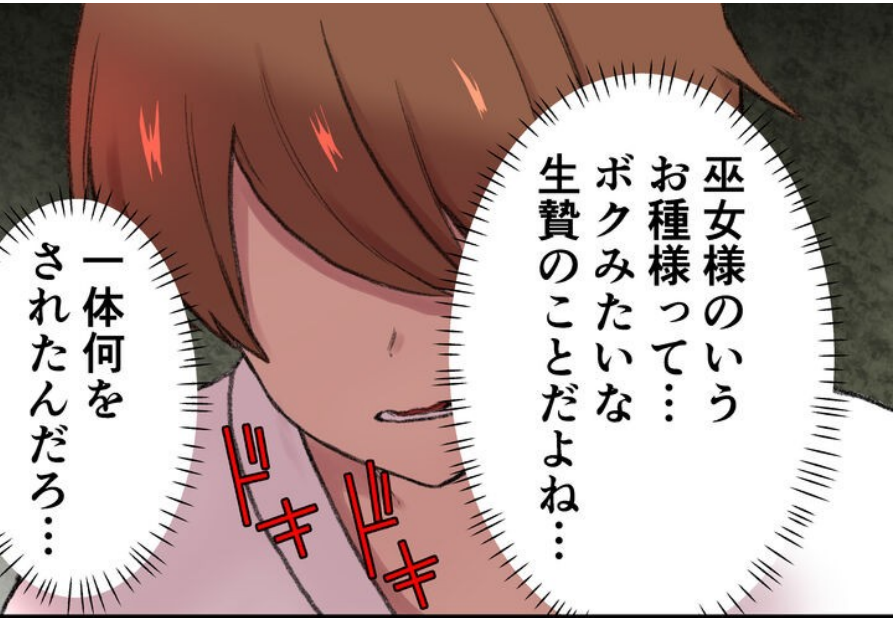




フ
ッ
ッ
ッ







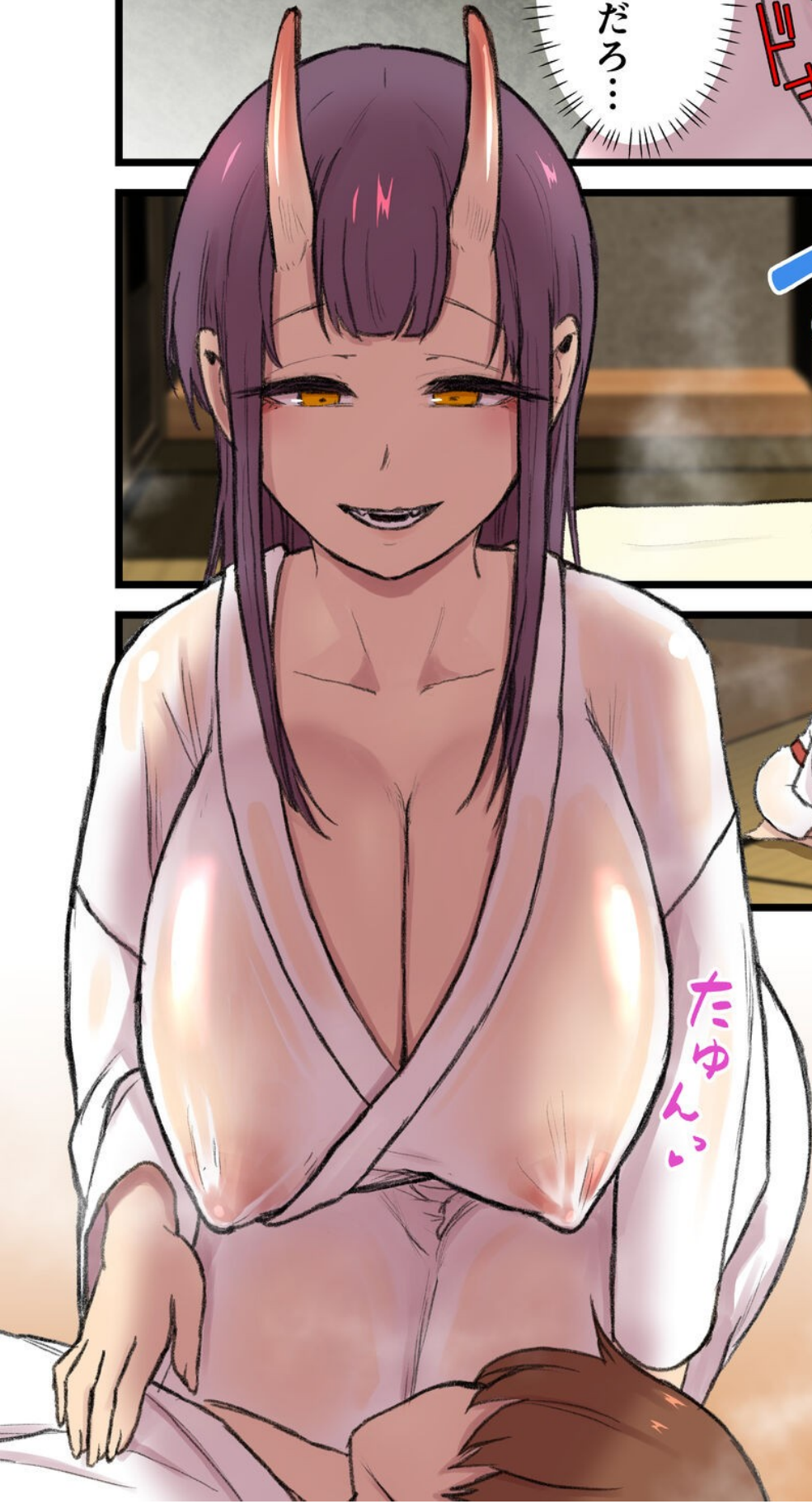
巫女様のいう
お種様って…
ボクみたいな
生贄のことだよね…

一体何を
されたんだろ…



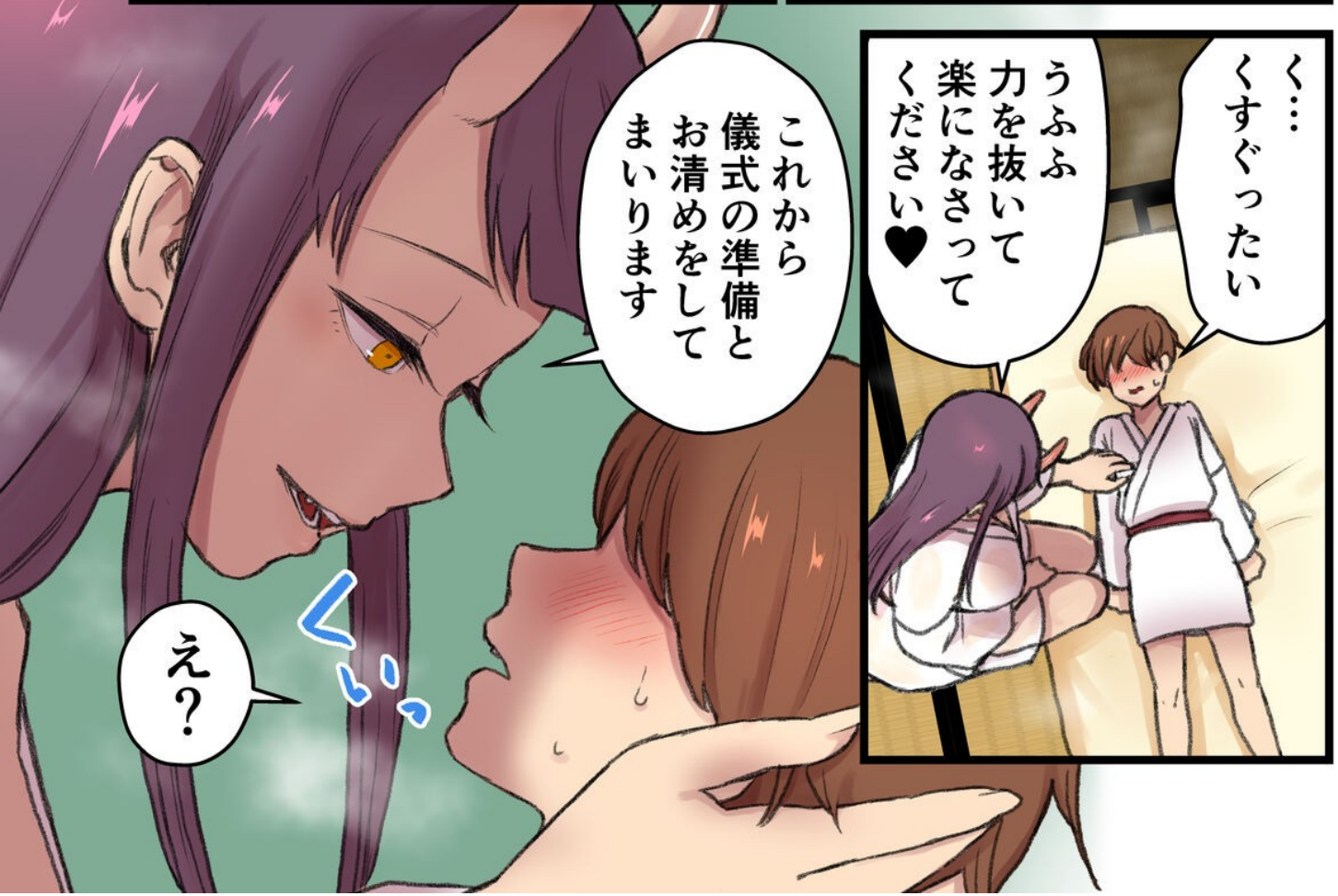
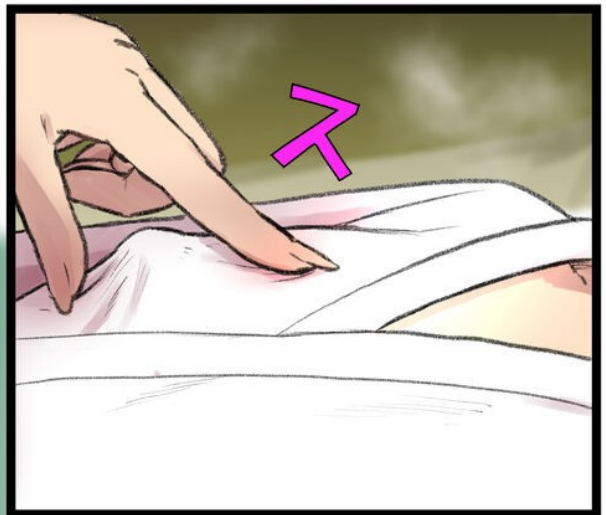
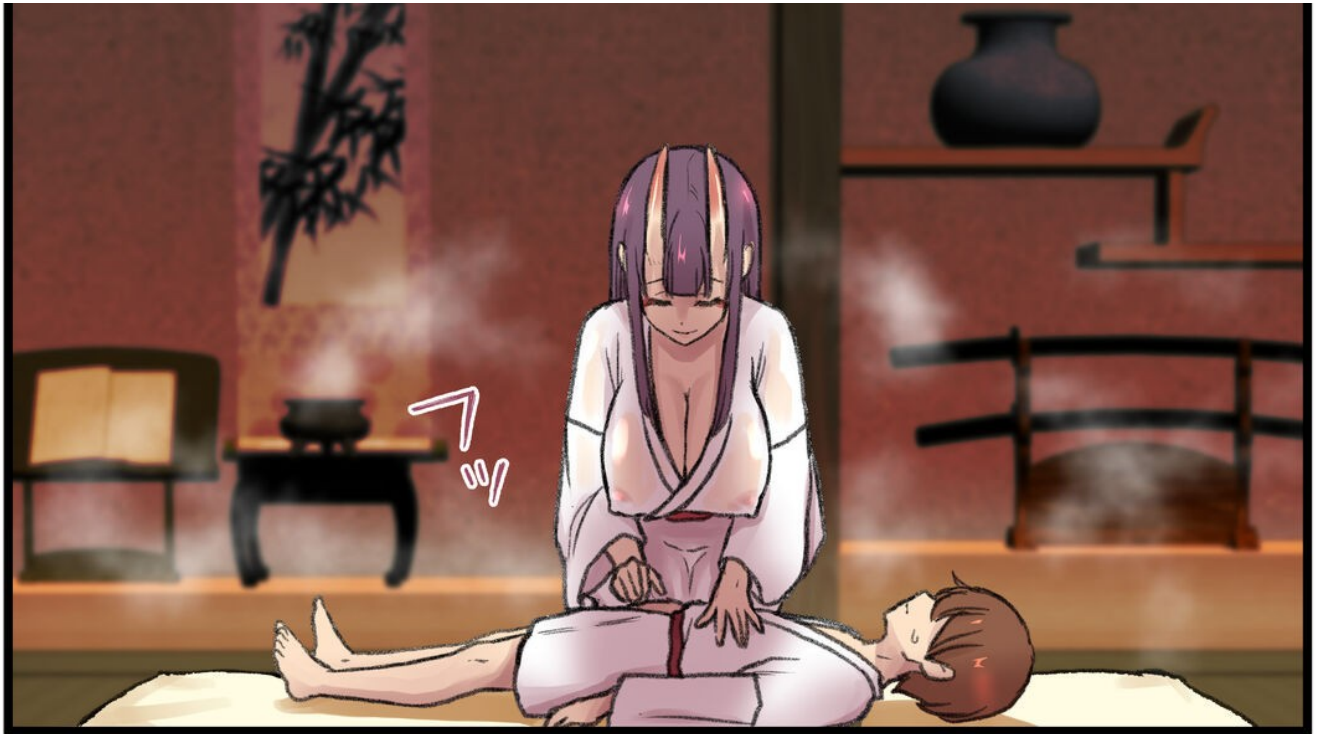
さあ
こちらで
横になって
くださいませ♡

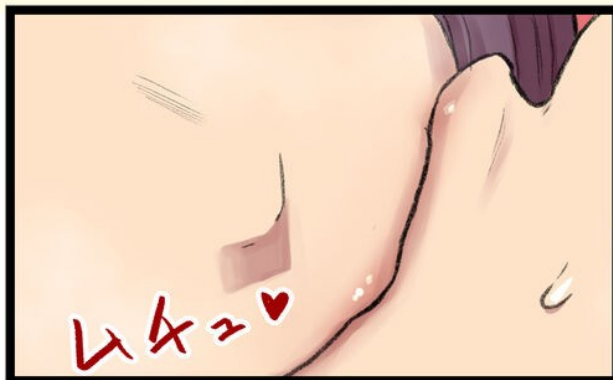
フ…



そう♡
いい子です♡

たゆんい







しかた
ありませんね



少しだけ
ですよ♡



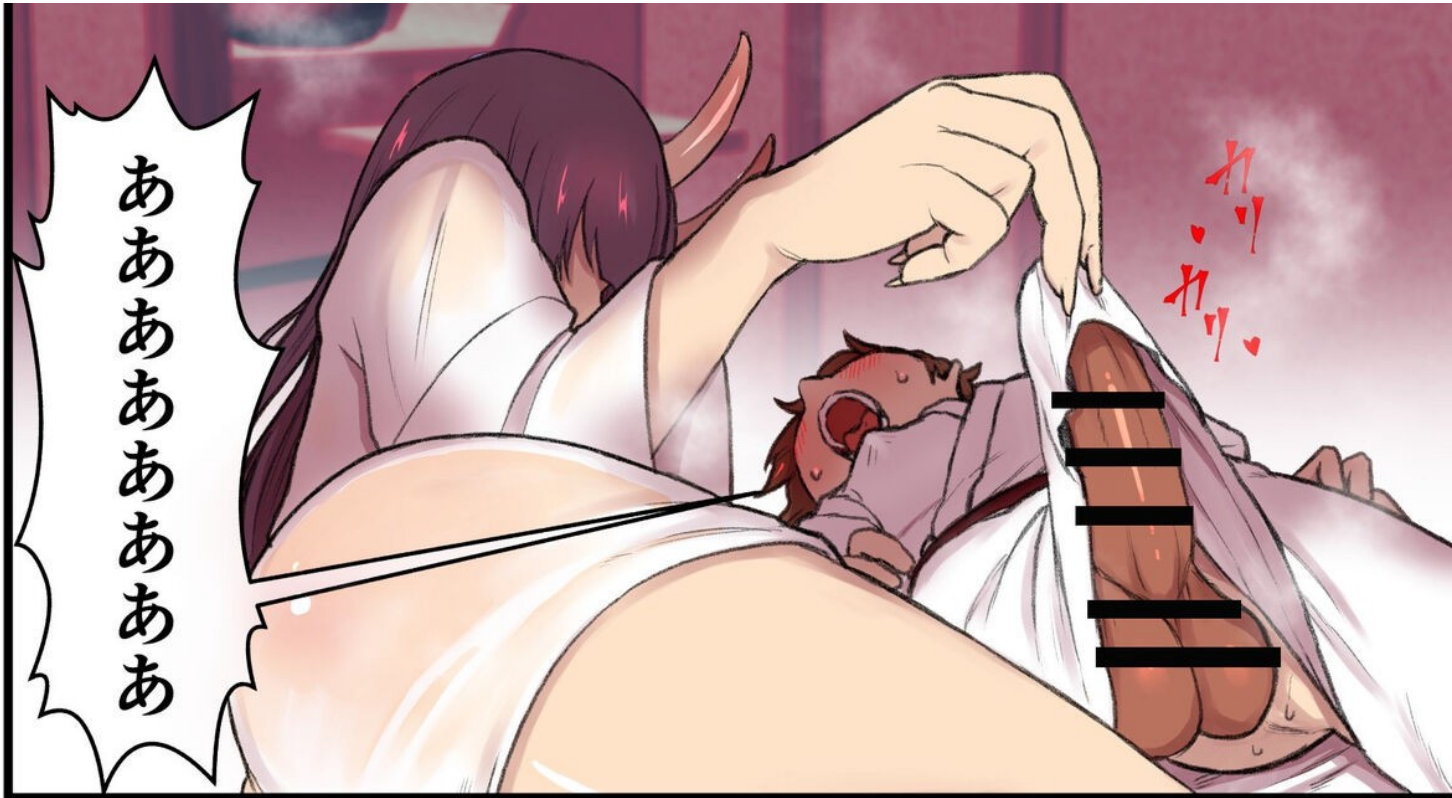
まだこっちは
触って
おりませんよ♡

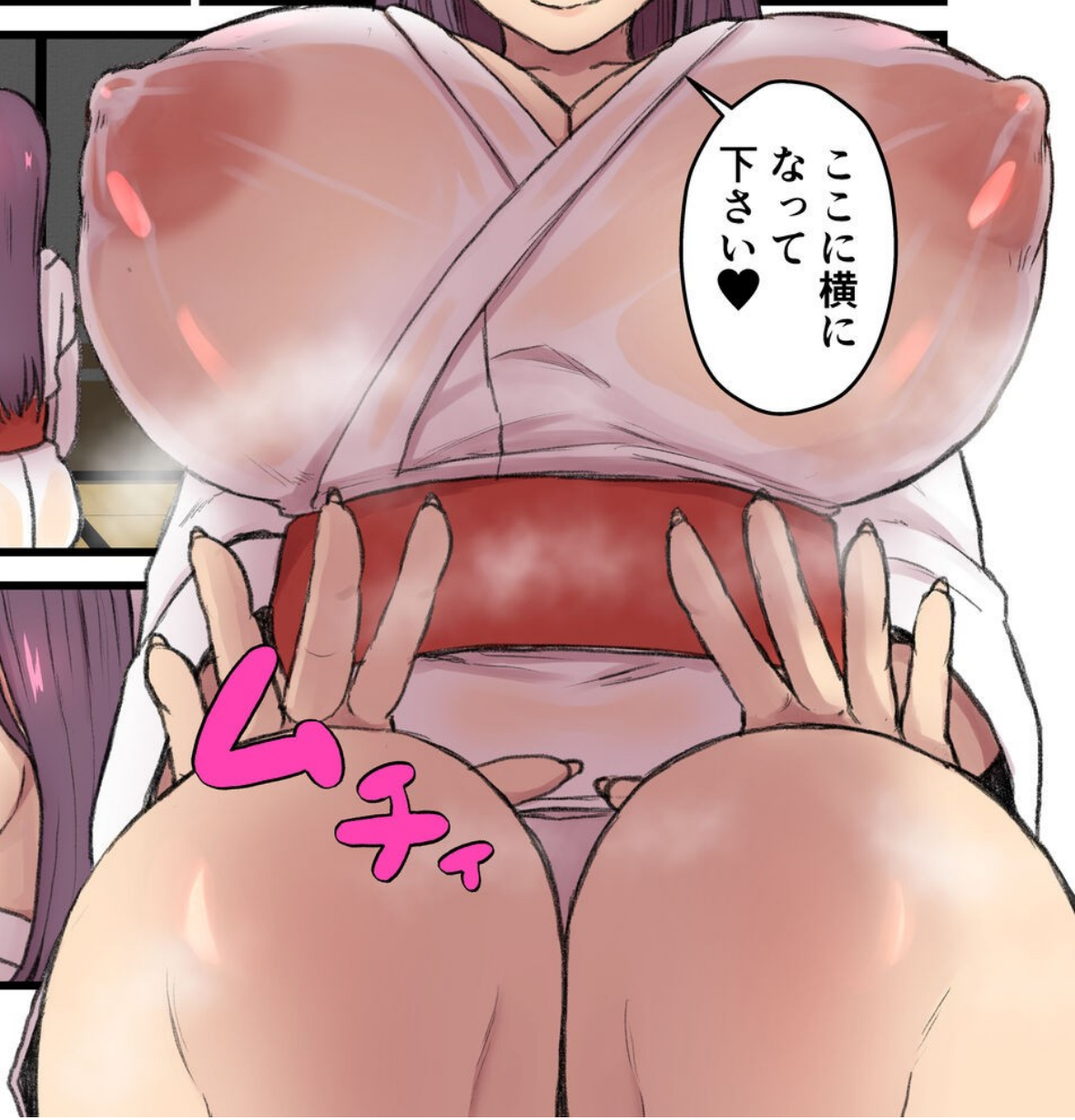
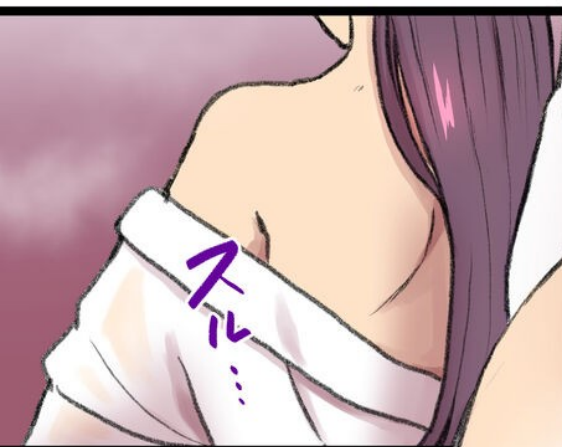
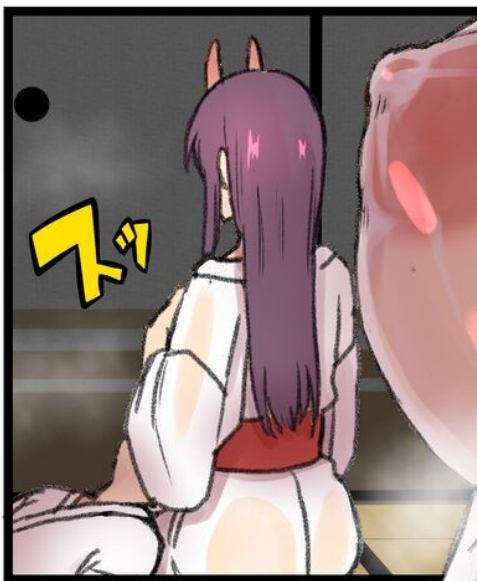


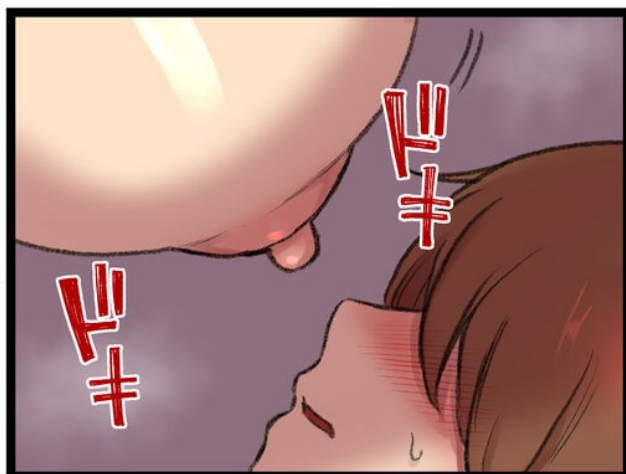
あ♡

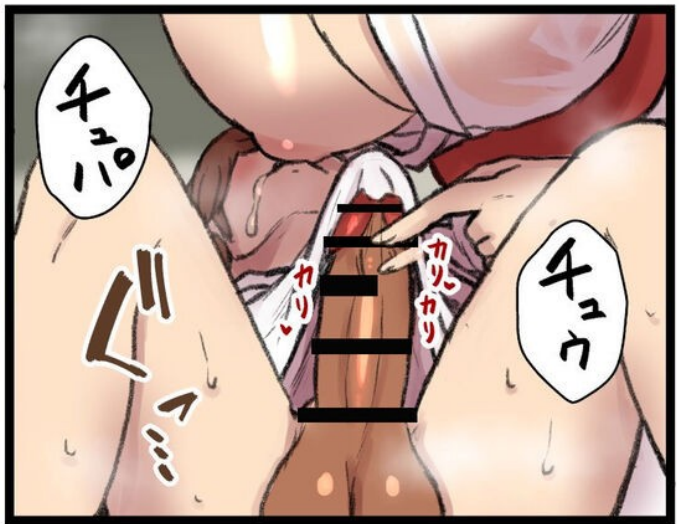
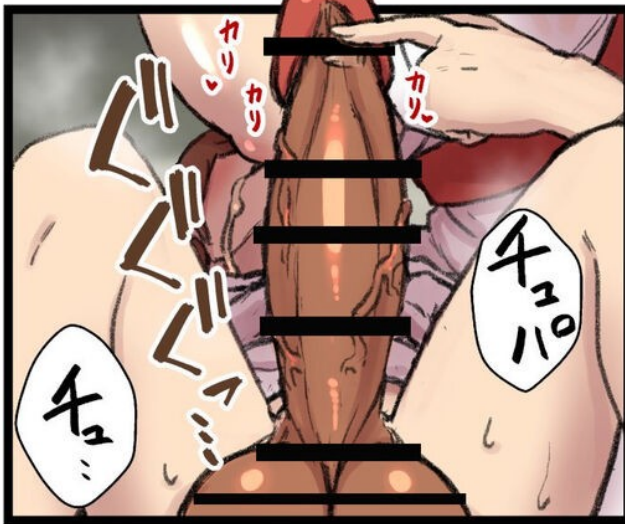
快感に身を
ゆだねて
ください♡

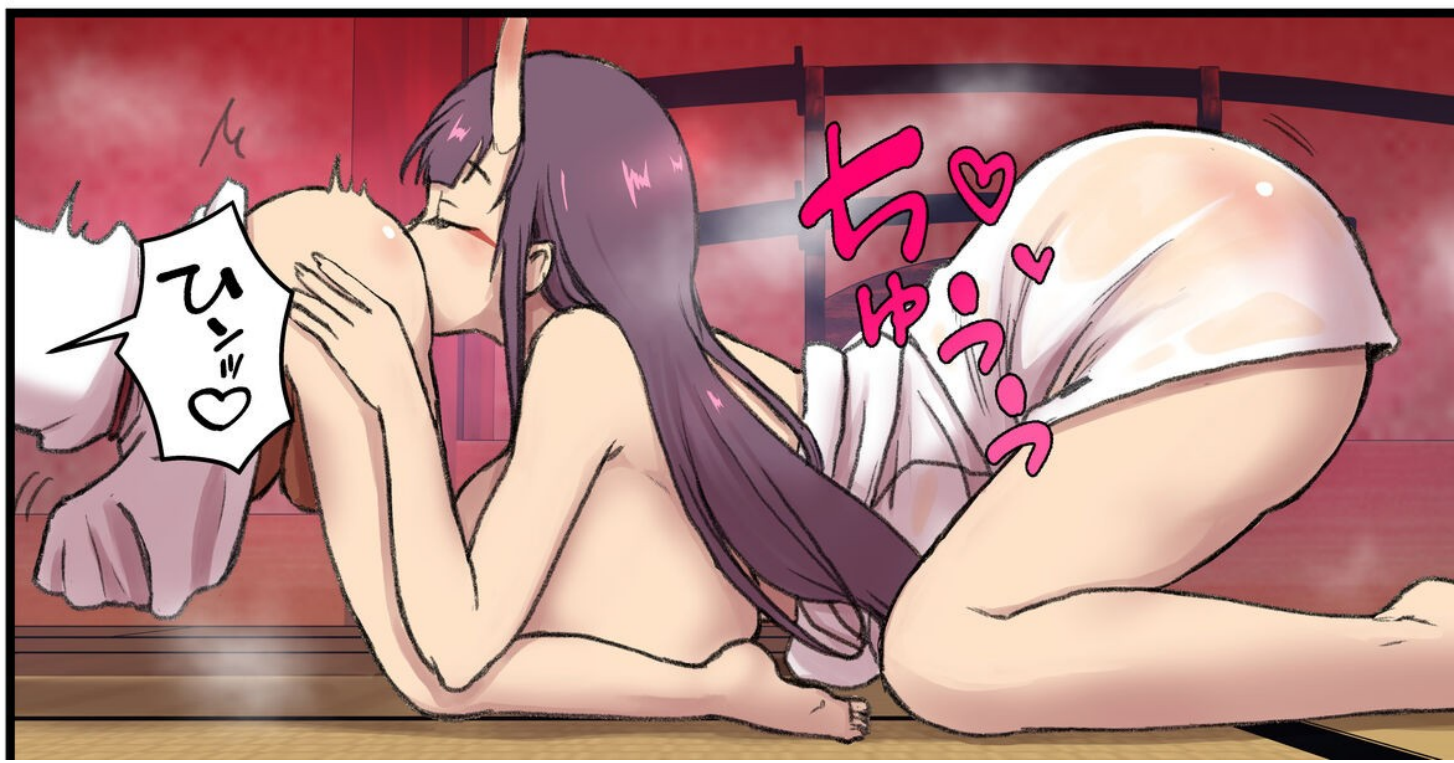
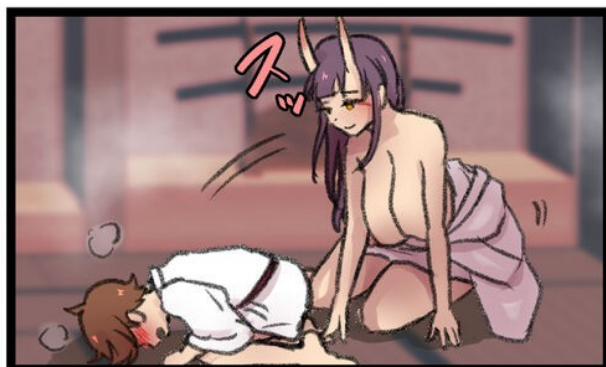
溢れそうなものを
我慢しないで
よいですよ♡

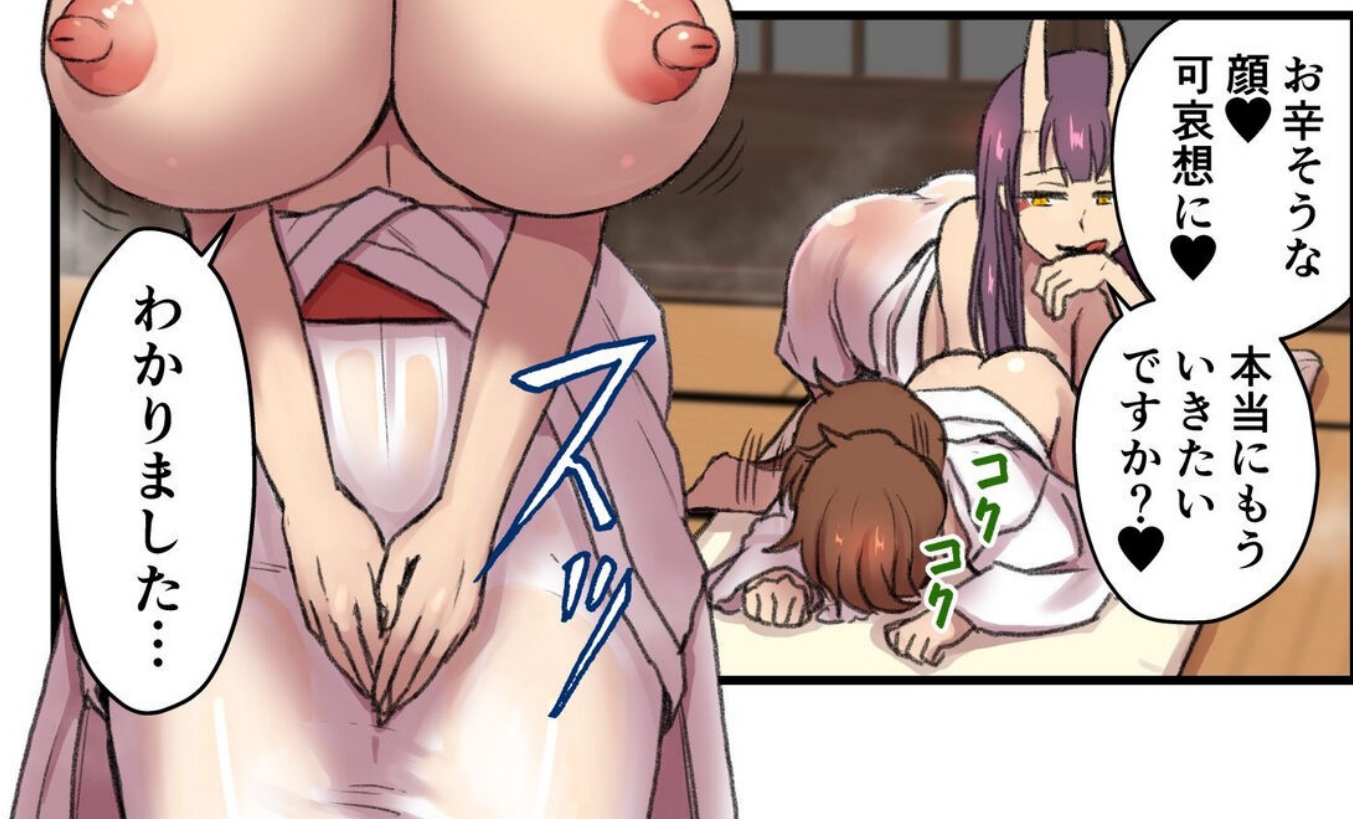
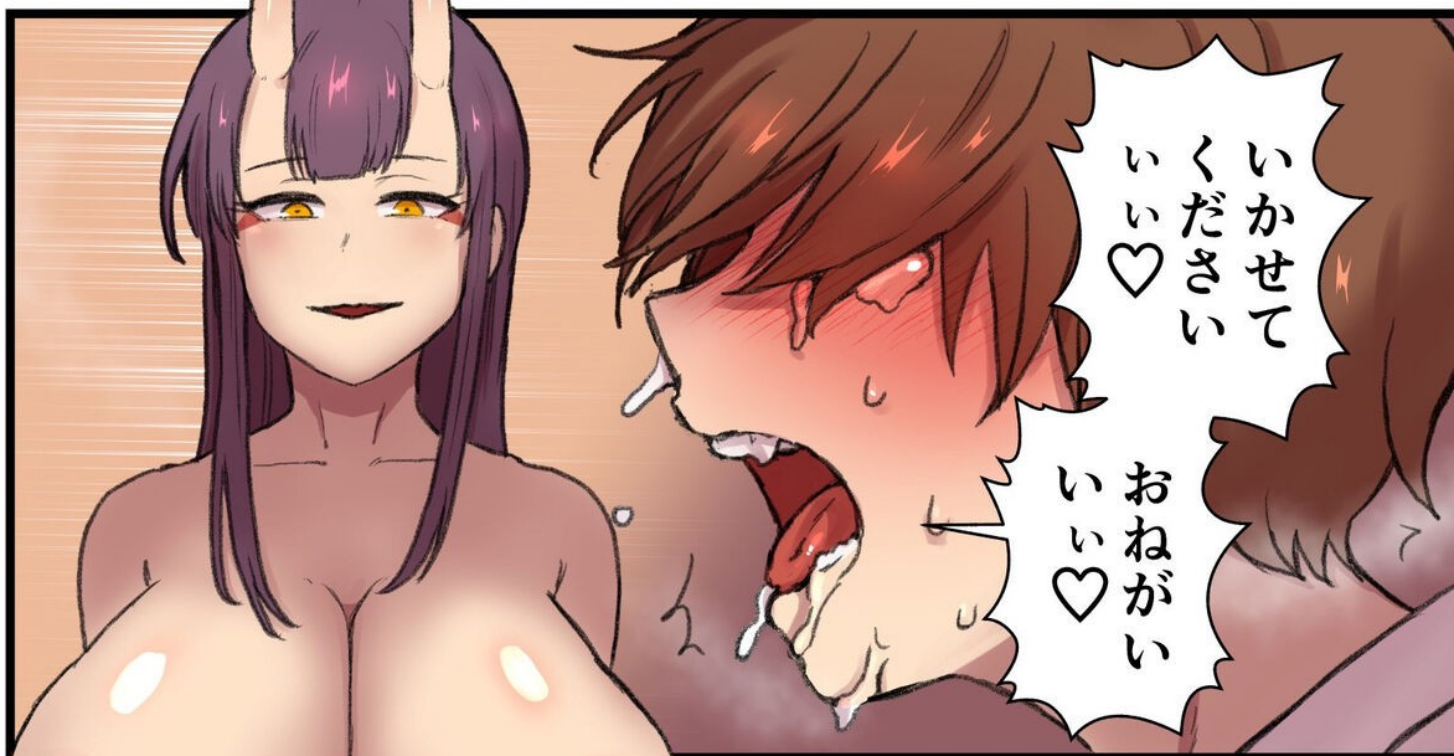
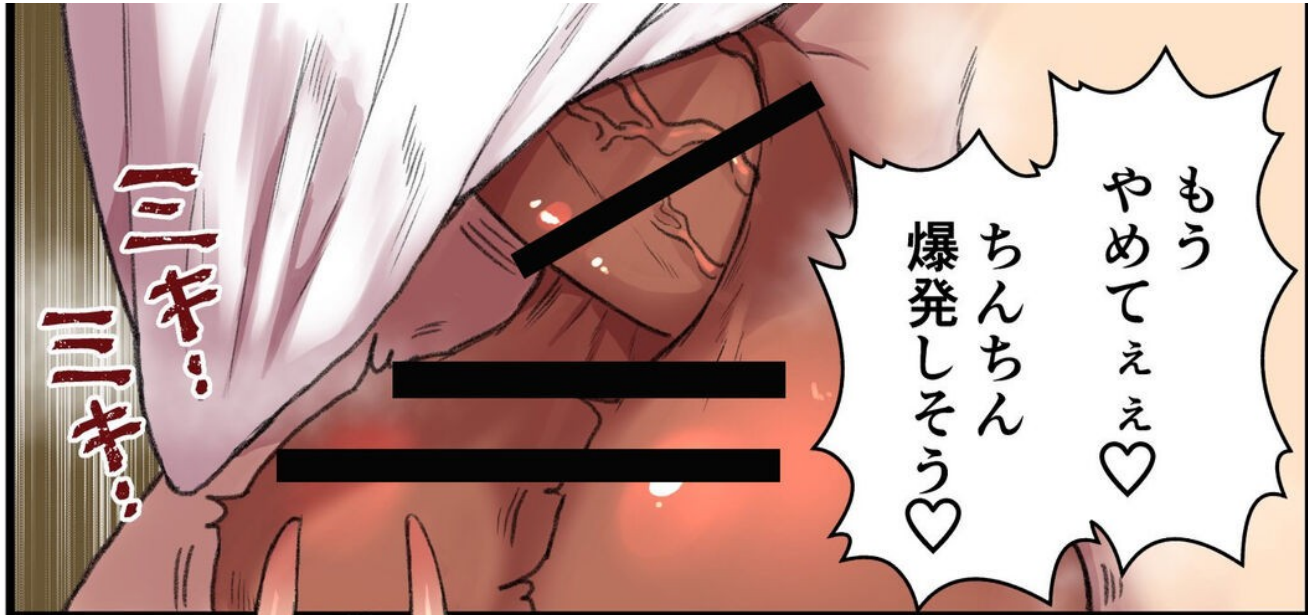


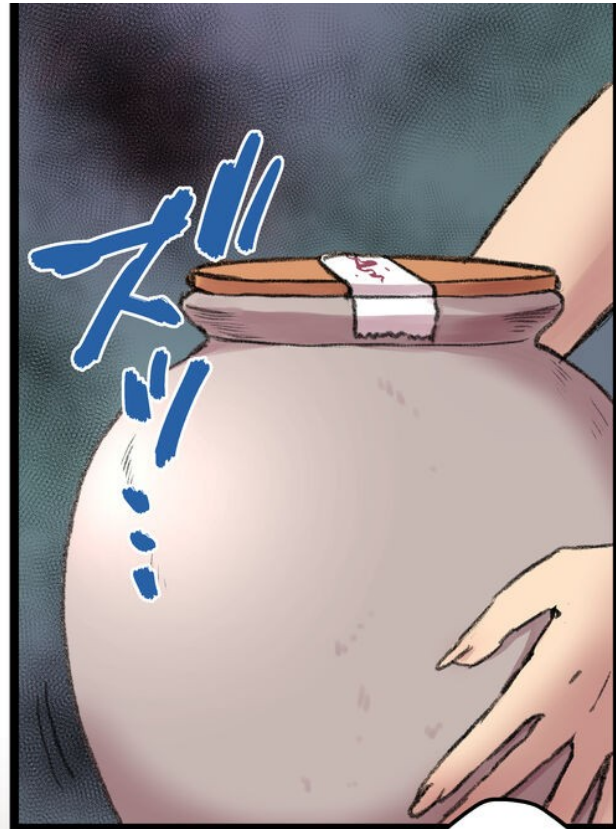








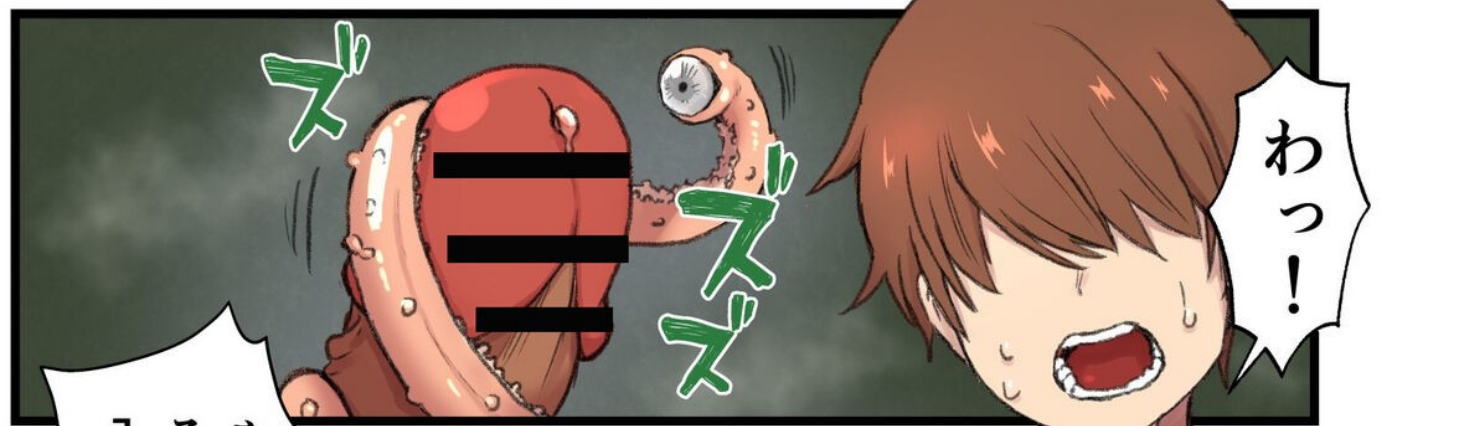
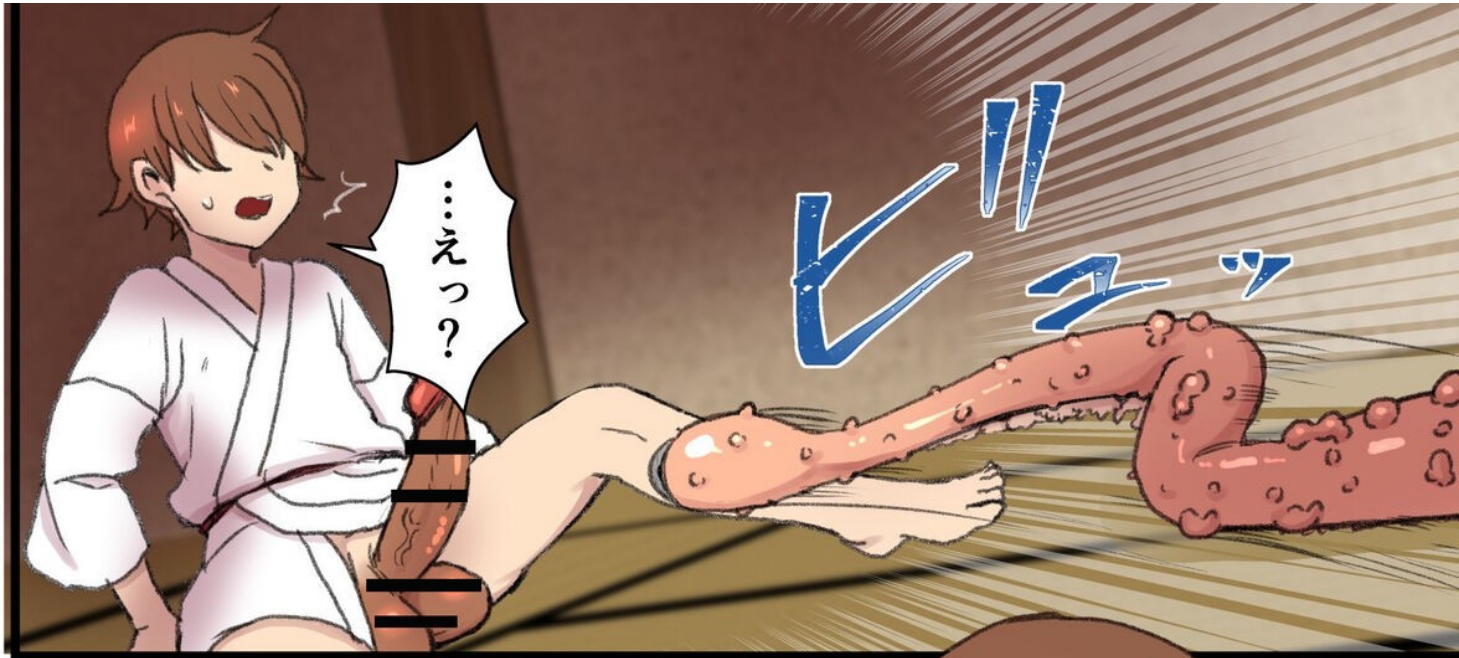


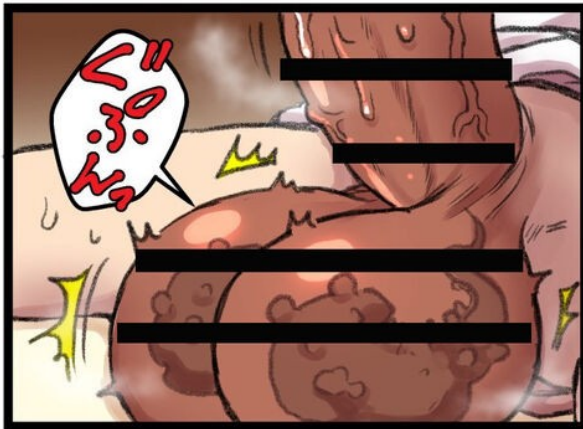
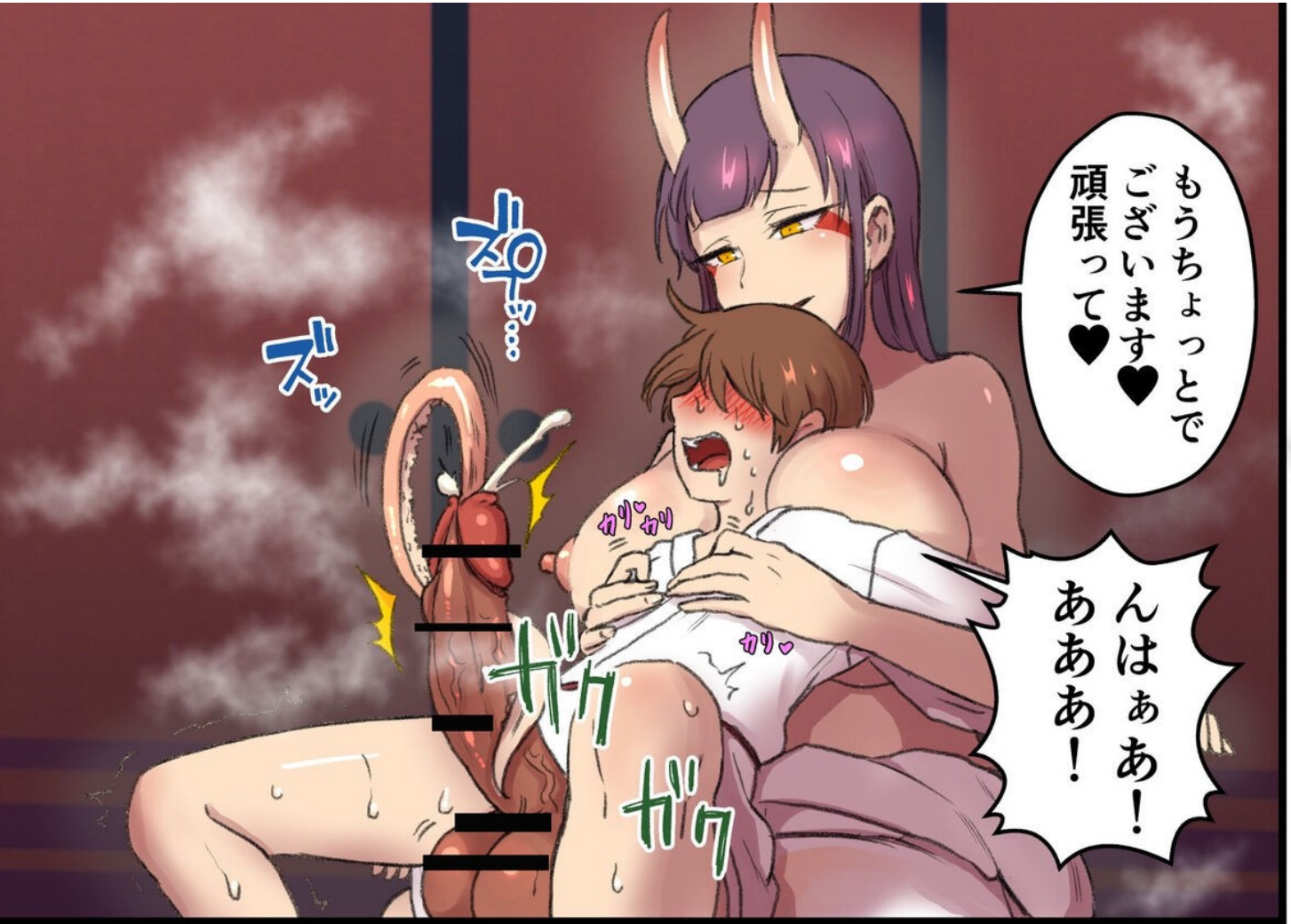


たゆん

それでは
これより
受肉の
儀に入ります









なんか出る♡
出るー！ー！♡

ああああ♡



きゅん

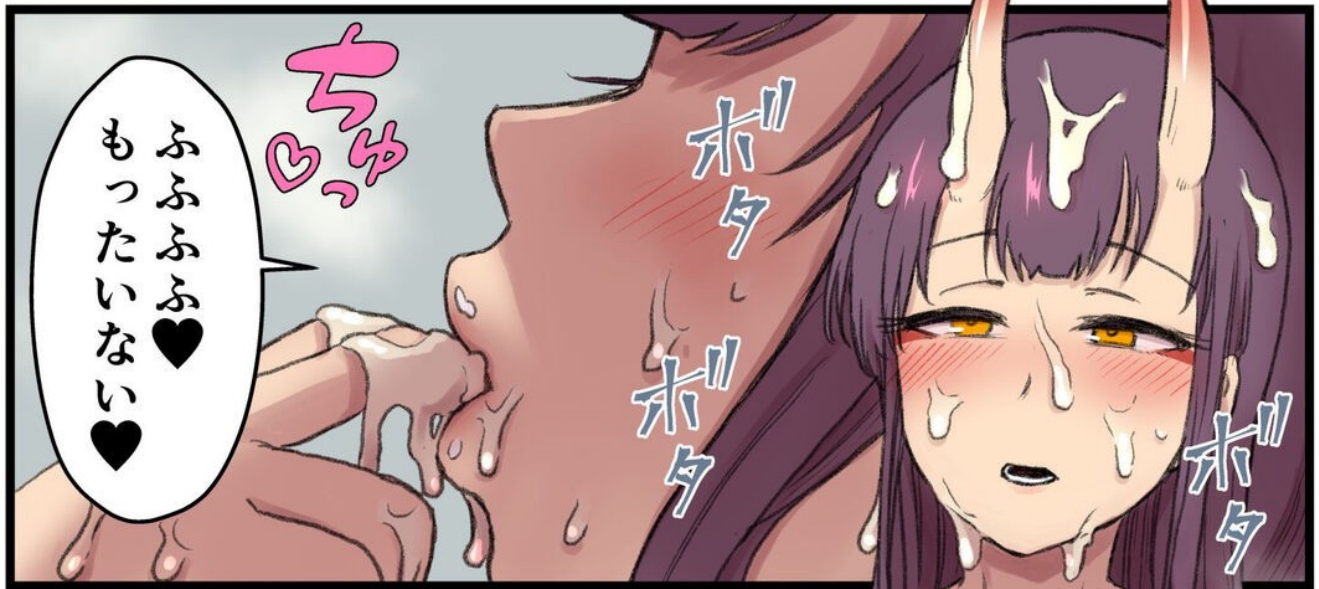


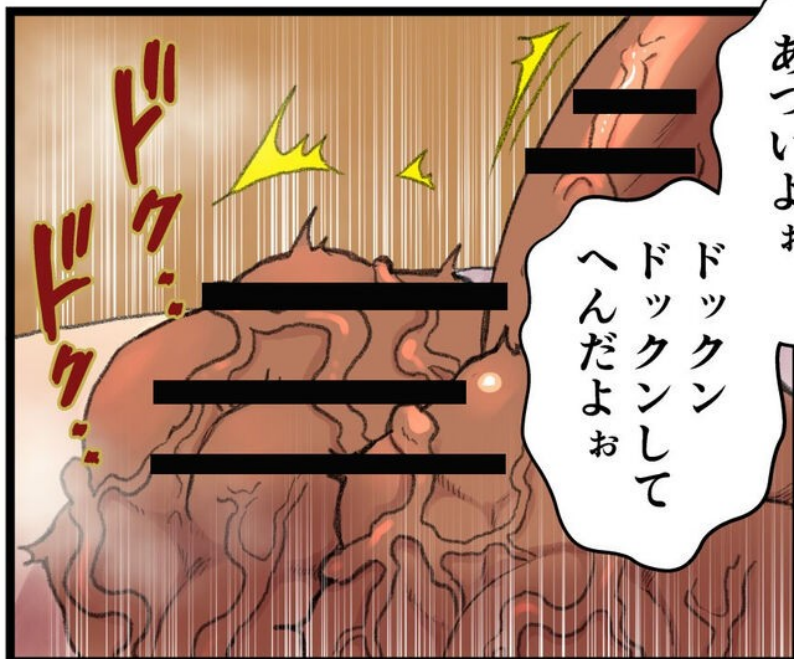
ビュ

ル

ル

ル





熱い…
なんかここが
あついよお

ドクン
ドクンして
へんだよお



孕ませよ…

目の前の雌を
孕ませよ…



ふふふ♡

それは神様が
宿られた証で
ございます

頭に…
直接声がっ…



貴方様は
これから
私と子を成し

神様を受肉
させるのです

はら



なんと
雄々しい
お姿…♡

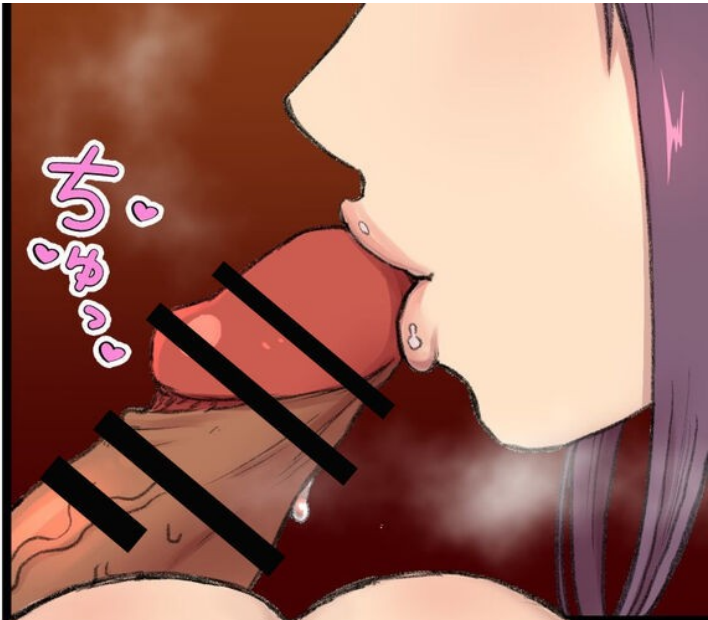
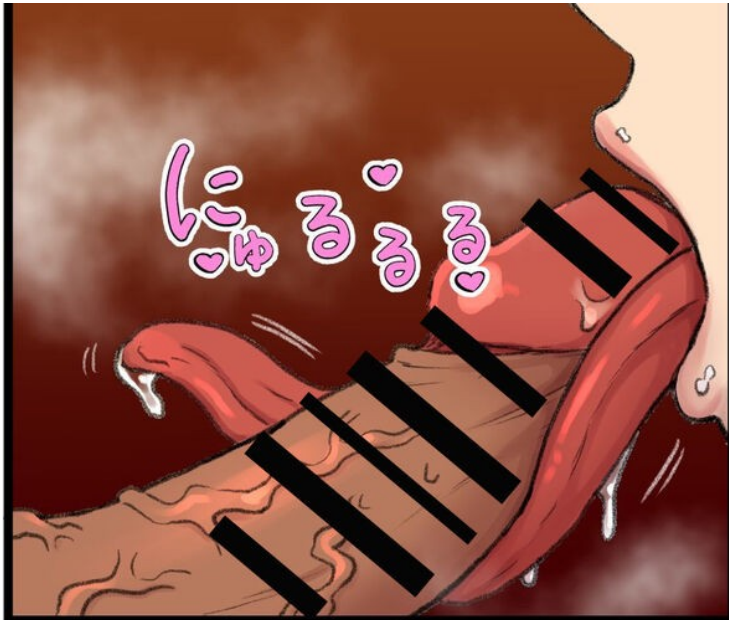
スンスン

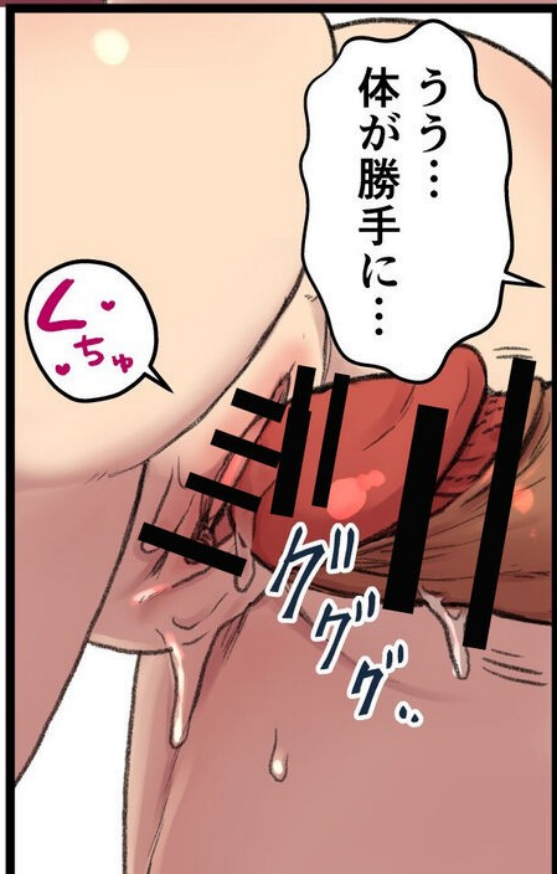
ドクン



さあそのままでは
お辛いでしょう♡

ブ

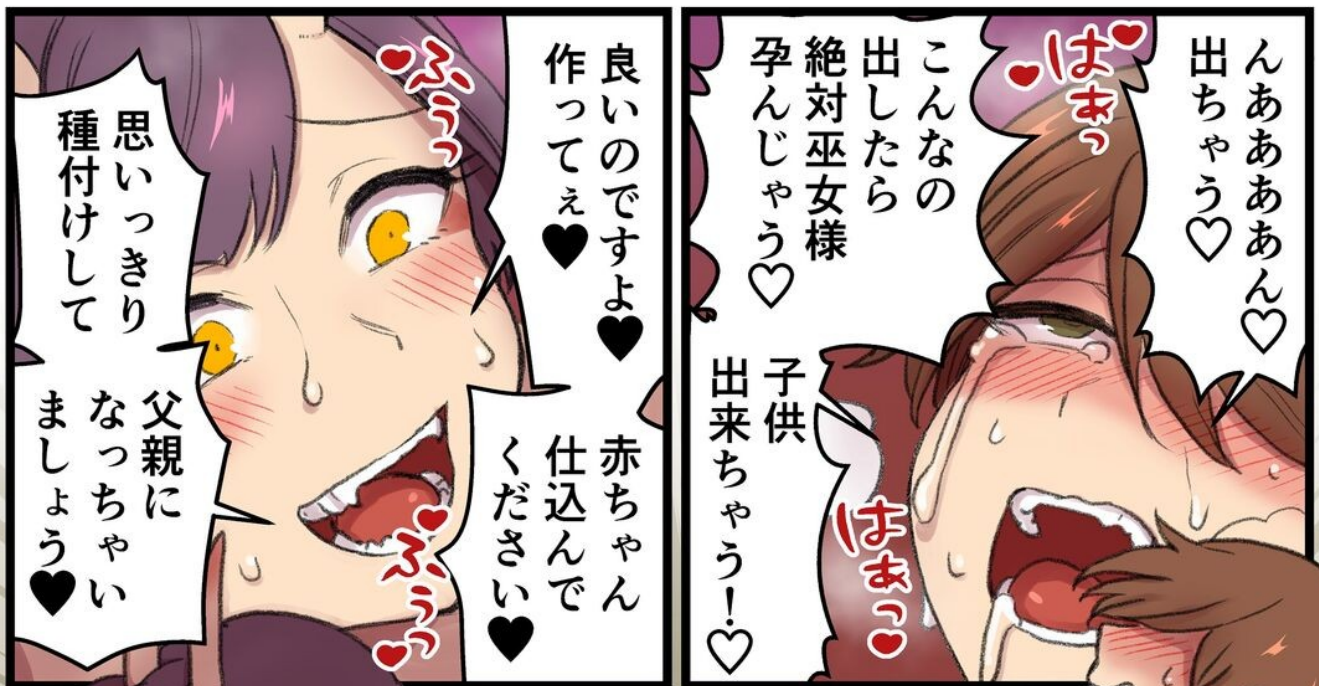








ふふふ♡
出ちやい♡
そうですね♡



んああああん♡
出ちやう♡
はぁっ♡
こんなの
出したら
絶対巫女様
孕んじゃう♡
子供
出来ちやう!♡

ふうっ♡
良いのですよ♡
作ってえ♡
赤ちゃん
仕込んで
ください♡
思いっきり
種付けして
父親に
なっちゃい
ましょう♡





はぁっ

はぁっ

憧れの巫女様に
こんな...



あああ...

ポタッ
ポタッ



コロッ



はぁっ

はぁっ

さあ...お種様
まだ足りません♡

確実に孕ませて
くださいませ♡

くはぁ

トロオ

ニ

ポッ

ポッ

